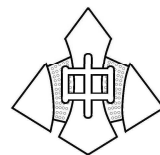


手をたずさえて

“KOHARADA WAY” 自分に打ちかて

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和2年12月4日（金）発行
【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

保護者の皆様へ 本校の教育活動に対するご協力・ご支援に感謝いたします！

12月にしてようやく今年度最初の授業参観を実施することができました。生徒達の学校での様子はいかがだったでしょうか。今年度は本当に特別な年度となりましたが、コロナ禍の中、保護者の皆様には様々な面において温かいご協力やご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染の収束にはまだ時間がかかるようです。今後ともご家庭との連携を図りながら“手をたずさえて”、学校運営にあたってまいりますので、よろしくお願いいたします。

はくもくれん

白木蓮の花の下で

慣れるということの恐ろしさを しみじみと思いながら
白木蓮の花の下に立っていた
情性は人間だけのものであって 彼等にはないのだ
この新鮮な姿を見よと 白木蓮を見上げた
小さかった木が こんなに大きくなり
こんなにたくさんの花をつけるようになったのだ
ああ 木いっぱい花をつけている
この湧きあふれる命の美しさに
目を見張れと 近頃のわたしを反省し叱咤した

（坂村真民）



hakumokuren

“癒やしの詩人”と言われる坂村真民さんの詩です。この詩には、彼が残した「花は一瞬にして咲くのではない。花は一筋に咲くのだ。」という言葉に通じる想いがあり、自然への畏敬の念や、子（生徒）の成長に気付かぬ親や教師への叱咤など、様々な捉え方ができるような気がします。さらに「慣れるということの恐ろしさ」「情性は人間だけのものであって 彼等にはないのだ」という一節には、長く続くコロナ禍の中にある我々への警鐘ともとれる意味を見出すことができます。

3年生へ

「準備すること」と「万全を期すること」

スポーツ選手たちは、インタビューで「次の試合にはどう臨みますか？」と聞かれると、その多くが『準備』という言葉を使います。「全力で頑張る」ではなく「準備する」こと。当たり前のようですが、とても重要なことだと思います。今、できることを手を抜かずにやること、それが「準備」だと思います。

同じように「万全を期す」という言葉があります。「ぬかりのないように準備すること」「少しの手落ちもないようにすること」という意味です。学校はもちろんですが、ご家庭におきましても、励ましはもちろん、健康管理、食事、生活のリズムづくり等についてバックアップをお願いします。

高校入試はひとつのゴールラインであっても、最終ゴールではないということ。高校の価値は校名で決まるのではない。生徒本人の目的意識とやる気でその価値は決まるということです。

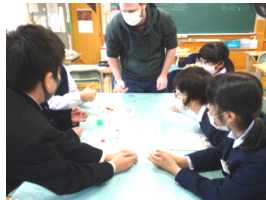
自分の今の力（成績）だと、A校の真ん中より下の方かもしれない。でもあえてA校に進み自分の力を試してみたい。いや、自分はB校なら上位にいれる。上位をキープし、進学を目指したいなど、様々な考え方があります。ぶれることのない自分の「軸」をしっかりと持って、自分のこれからに挑戦していったほしいと強く願います。

1・2年生へ

「小原田中の顔」として…

本校の生徒の『誇れるところ』(先生方からの声)

「素直な生徒が多い」
「穏やかな生徒が多く、受容の雰囲気がある」
「責任感のある生徒が多い」
「学校行事等に意欲的に取り組む生徒が多い」
「勉強にスポーツに努力している生徒が多い」
「周囲に救いの手をさしのべることができる」など



本校の生徒に『欲しいもの』

- ◆ 規範意識や思いやりの心
 - 様々な場面で心を耕す指導・支援を継続する
 - ◆ 競り合ったときのパワー・たくましさ・強さ
 - 自分を表現する術(ず)を身に付ける(自分の思いや考えをはっきり伝える力)
 - 自ら考え、自ら行動できる力(自主自立)
 - ◆ 「学習」に立ち向かっていく姿勢
 - 「何のための勉強なのか」という目的意識の醸成と、自分なりの学習方法の確立などの学習習慣づくり
 - 自分の考えや思いを相手にしっかりと伝える力
 - ◆ “自信と誇り”
 - 「やった!」「できた!」という満足感や自己肯定感
 - 他を認め、リスペクト(尊敬)し合える心
 - 学校や地域を愛する心情 “小原田PRIDE”
- ◎ 「小原田中の顔」として、どんな小原田中をつくっていか
てくれるのか、大いに期待しています。



保護者の皆様へのお願い

今までも生徒への指導を継続して行うとともに、保護者の皆様にも何度もお願ひしていることですが、次の3点について、ご家庭からの指導を重ねてお願いいたします。

- ① 感染症対策の基本(手洗い・消毒、マスク着用、換気、3密の回避など)の徹底と継続
- ② スマホや携帯電話、タブレット、コンピュータ、通信機能のあるゲーム等、情報通信機器の使用にあたって、家庭でのルールづくりや使用状況の把握
《「親の責任」の下で》
- ③ 市内小中学生の交通事故が多発している現状を踏まえて、特に自転車運転時の注意点として、「飛び出しはしない」「交差点等では一旦停止する」などの交通ルールの遵守



感染症対策《保健室掲示》